

ターゲットバードゴルフ

特徴

昭和44年に、狭いところでゴルフが楽しめるようにという思いから埼玉県で生まれた、ゴルフ型のスポーツです。

バドミントンの羽とボールを合体させたようなシャトルボールを、ゴルフクラブ(ウェッジ)で打ち、パラソルを逆さにしたようなネットホールに入れるまでの打数の少なさを競うスポーツです。

羽根のついたボールを使用するので滞空時間が長く、人に当たっても怪我をしません。

初心者でもすぐにできるゲームであり、ゴルフの練習にもなります。

コート大きさや使用する道具

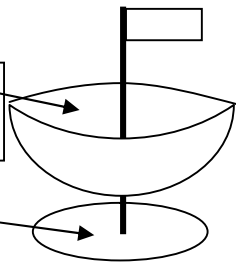
クラブ: TBG公認クラブあるいは
ピッチングウェッジ
ボール: 専用ボール
ショットマット: ゴルフ練習用マット



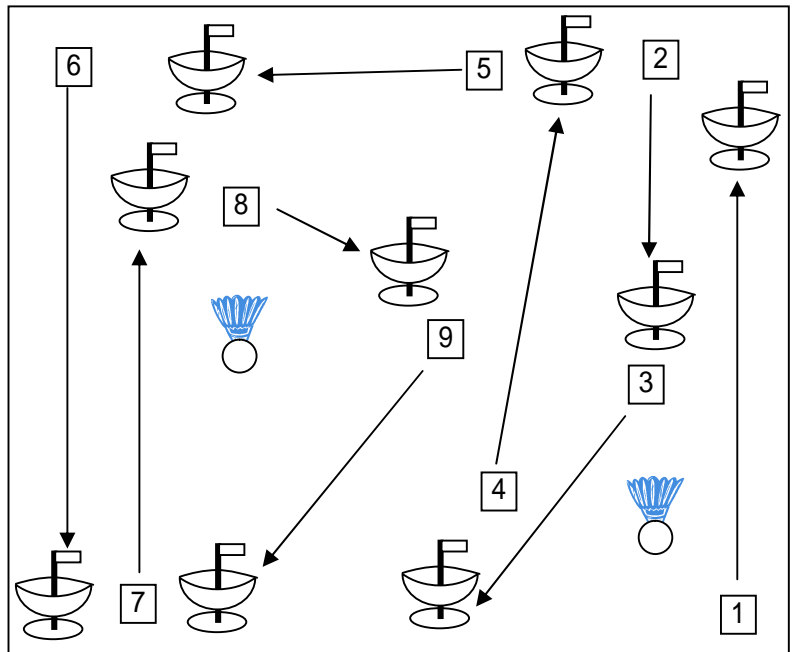
コース: グラウンド・広場等
ショートホール(パー2): 16m ~ 22m
ミドルホール(パー3): 32m ~ 45m
ロングホール(パー4): 50m ~ 60m
1ラウンド18ホール、パー54

ホール

アドバンテージホール
直径: 110cm
高さ: 20cm



セカンドホール
直径: 86cm



ルール・競技規則など

プレーは、4人一組で行う。第1打はトス・コイン等で打順を決める。第2打目以降は、ホールから遠いプレイヤーからショットを行う。なお、各ショットでは「ショットマット」を使用する。

2番ホール以降の打順は、その前のホールの最小打数プレイヤーから行う。

何回かの打撃でホールインしてそのホールは終了する。
ホールインとは、ボールがホールの「アドバンテージホール」
「セカンドホール」のどちらかに入ったことをいう。

アドバンテージホールに入った場合は、その時点での打数となるが、セカンドホールに入った場合、その時点の打数に1打加える。

ショットマットを使用する場合、とまっているボールの後ろにセットし、ボールをマットの先端に置き、ショットを行う。



詳しい内容を知りたい場合

東京国分寺ターゲットバードゴルフ協会

<http://ykokoro.kir.jp/baado/baadorinku/baadorinku.htm>